

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	チャレンジゼミナール
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	各ゼミで指定されたもの				
担当教員	松田 修				
到達目標					
与えられたテーマに沿って、主体的に問題に取り組み、問題を解決する能力を身につける。さらに得られた成果を適切な方法で表現する力を身につける。 1. 多くの情報の中から要点を整理できるようになること。 2. 他人の意見を理解し議論することができるようになること。 3. 得られた結果や成果を正確に表現できるようになること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	多くの情報の中から要点を整理し、さらに、それを有効活用できる。	多くの情報の中から要点を整理し、さらに、それを活用できる。	多くの情報の中から要点を整理できない。		
評価項目2	他人の意見を理解し議論し、次のステップに繋げ、発展させられる。	他人の意見を理解し議論し、次のステップに繋げられる。	他人の意見を理解できず、議論できない。		
評価項目3	得られた結果や成果を正確に表現し、さらに多くの人を理解させることができる。	得られた結果や成果を正確に表現できる。	得られた結果や成果を表現できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	選択 基礎となる学問分野：1. 2年生で学習した科目 本科目は一般科目の学習目標「(2) 自律の精神を求め、創造性を身につける」に相当する科目である。 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(D) 課題解決能力の育成」である。 各研究室の指導教員が与えたテーマに沿って、総合的な学習に取り組む。研究室によっては、特定の課題を取り上げて研究活動を行う。				
授業の進め方・方法	少人数のゼミ形式で行う。 各研究室が提示する成績評価に従い評価する。				
注意点	本科目は、授業時間以外の自発的学習を含む科目であり、週1単位時間の時間数に対して、2単位が設定されている。従って、授業時間以外の学習が必要である。 事前に希望する研究室を訪ね、内容をよく聞き履修すること。 関連科目：卒業研究(5年) 事前に希望する研究室を訪ね、受講上のアドバイスを受けておくこと。 授業開始10分までを遅刻とし、遅刻の回数が多い場合は、警告を行った後、欠課扱いとすることもある。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	基礎知識の確認		
		3週	基礎知識の確認		
		4週	基礎知識の確認		
		5週	課題設定やテーマ設定		
		6週	課題設定やテーマ設定		
		7週	課題設定やテーマ設定		
		8週	情報収集1		
	2ndQ	9週	情報収集1		
		10週	情報収集1		
		11週	情報収集2		
		12週	情報収集2		
		13週	情報収集2		
		14週	情報の整理		
		15週	情報の整理		
		16週			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		
		2週	データの分析1		
		3週	データの分析1		
		4週	データの分析1		
		5週	データの分析2		
		6週	データの分析2		
		7週	データの分析2		
		8週	研究結果の確認と問題点の整理等		
	4thQ	9週	研究結果の確認と問題点の整理等		

	10週	研究結果の確認と問題点の整理等	
	11週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	12週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	13週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	14週	成果のまとめ（最終報告書）または発表等	
	15週	成果のまとめ（最終報告書）または発表等	
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	0	60	0	0	0	40	100
基礎的能力	0	60	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0